

## 学校再編計画にともなうアンケート調査

学校再編に関する宇仁小校区説明会が2月17日と3月17日に開催されました。この動きに呼応する形で、令和5年度宇仁小学校1年生から6年生と次年度の新1年生の保護者のみを対象としたアンケート調査が実施されました。その結果は以下の通りです。

アンケート回答(戸数) : 44戸 /44戸(アンケート配布戸数)  
統合賛成(戸数) : 38戸 (86%)  
統合反対(戸数) : 6戸 (14%)

この結果をふまえて、PTA としての方針を統合賛成とし、今後、賛成・反対の意見を尊重した賛成活動を行うとしています。

統合賛成の意見を要約すると、①人数が多いと友達や教育の選択肢が増えメリットの方が多い。②泉よつばこども園からの一環教育を望む。宇仁小の児童が中学へ進学したときに仲間外れにされるのではと心配。③子ども達の将来のことを一番に考えて欲しい。誰のための統合なのかをよく考えて欲しい。④宇仁小が少人数で存続するのであれば宇仁地区を出たい。若い世代のことを考えてくれない町には住みたくない。⑤複式学級では子ども達が学習に集中できるとは思わない。⑥様々な価値観の友達と関わることで刺激あい成長することを望む。⑦宇仁地区だけ変わり者扱いされている。宇仁地区だけ取り残されるのはやめて欲しい。

統合反対の意見は、①小規模特認校制度をとりいれたら良いのでは。子ども自身が学校を選べるようにして欲しい。

アンケート結果を各世代のみなさんはどのようにお考えでしょうか。冷静な判断を望みます。(地区住民の一人)

## 三世代ふれ合いグラウンドゴルフ大会を終えて



昨年の11月11日に3世代ふれ合いグラウンドゴルフ大会が当町のグラウンドゴルフ場でありました。当日は子供会とその親御さんおよびシニアの面々で行いました。始めるにあたり区長さんの挨拶とグラウンドゴルフの代表の方よりルールや注意事項の説明があり、8時30分頃から開始しました。普段はシニアクラブの人だけでプレーしていますが、この日は30人ほどのうち半数が若い人でしたので、普段とはかなり異なったゲームとなり、面白くもあり有意義でもあった様に思います。若い人とプレーすることは気持ちだけでも以前に戻った様な気がしました。

この様にしてゲームを2回楽しませてもらいました。なお小学生の中には要領がわかりにくい子もあり、本人は苦労したのではと思います。その点親御さんの方は、ゴルフの経験者がたくさん居られたので、要領のみ込みが早かったです。その他色々面白いプレーがあり楽しませてもらいました。

なお当日はゲーム終了後に女性の方より熱い飲物を参加者全員に差し入れてもらい一息つきました。またゲームを通じて一人の怪我人もなかったのが幸いだと思います。明年度もこの様な催しがあるようであれば大した事も出来ないが参加したいと考えたりもした次第です。

最後になりましたが、この催しを行うにあたり計画をいただいた区長さんをはじめ関係各方面の方々には大変ご苦労をおかけしました。おかげさまで無事に終了することが出来ました。(小印南町シニアクラブ会長)

## さくらまつりの中止について

さくらまつりを年間カレンダー上では計画していましたが、今年も中止ということになりました。

## 田谷町大歳神社大祭

田谷町は1月28日、長年伝統行事として実施しています大歳神社大祭を実施しました。大歳神社は上所(上垣内、東垣内)下所(下垣内)から毎年1人ずつお祈番を決めてお守りをしています。大歳神社では大祭のほか節分(2月)、子ども相撲(7月)、秋祭(10月)、お正月(1月)を2人のお祈番の方が行っており多くの方々がお参りされています。

また、その他に金比羅神社、神明神社、八幡神社、恵比須神社の4社が祀られており、合わせて年7回下垣内のお祈番がお守りしています。

当日の大祭ではお天気に恵まれた中、山本宮司のもと神事が始まり、その後次年度のお祈番への引継ぎが行われ、合わせてその年の厄払いも実施しました。町内の方々が多数お参りをして、お餅、みかん、煎餅をいただいて帰ります。また、コロナ禍で3年間中止していました直会も実施して楽しいひと時を過ごすことが出来ました。(田谷町区長 民輪博且)



## 宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達<sup>25</sup>

### 宇仁郷まちづくり協議会

12. 市議会総務委員会に出席し宇仁小の早期建設着手を訴える(その4)

(2) 質疑応答

○総務委員長(吉田稔君) それでは質疑に入ります。質疑のある方はございませんか、井上委員。

●総務委員(井上智章君) 請願の理由、経緯の中で「現校舎の耐震化は費用対効果の観点より得策ではなく」という一文がありますが、この辺の状況をご説明いただけませんか。

◎請願者(丸岡肇君) 現校舎の耐震化について私は専門家ではありませんので、地元の一級建築士の話をご参考にお答えします。校舎の西側と東側の地質が悪く校舎が傾いており、土壌改良による地盤の安定化が必要です。建物の基礎は無筋の基礎でひび割れが散見されます。また校舎は50年経過した木造ですので耐震化が可能かどうかの見極めが必要です。やるとなれば3億~3億5千万の見立てですが、それに仮校舎の費用が加算されますから費用対効果を考えると、得策ではなく新用地に新学校を建てる方が得策との意味でございます。

●総務委員(井上智章君) 井上芳弘議員から何か補足、ご説明はありますでしょうか。

▲紹介議員(井上芳弘君) 今の金額はあくまで想定なんですけども、50年以上を経過した、校舎としてはもう耐用年数を大幅に経過したものを基礎から耐震補強をしていく意味ですね。もしかすれば、当然新築のほうが高つくかもしれませんが、それについては今後の活用を含めて十分に地域が子どもたちだけではなく地域の1つの施設として、十分生かしていく、そういう姿勢がありますから、十分にその値打ちをいかしていくことができると思います。そういう意味での効果として、私は受け止めておるんですけども、まだきちとした算定ができたものではありませんから、私としては金額的なことは言えませんけれども、そういう思いです。

\* 紙面の都合上、掲載は請願の趣旨説明とその質疑に留め、論戦模様は割愛しました。

●総務委員長(吉田稔君) 丸岡会長もいろいろ思いもあるでしょうけれども、今後も活動を続けて頂きたいと思えます。それではこれより採決を行います。お諮りいたします。請願第6号は採決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者 挙手)

●総務委員長(吉田稔君) 全員賛成ですね。以上全会一致でありますので、請願第6号は採択することに決定しました。これで請願第6号の審議が終わりましたので、井上芳弘議員と丸岡会長さんをご退席ください。

\* 平成22年12月22日の最終本会議で原案どおり採択されました。



### お詫びと訂正

宇仁郷通信176号(令和6年3月)の「小さな学校でも、今も昔も変わらず大きな学校には負けていません」の記事で誤記がありましたので、お詫びして訂正します。

(誤) 3年石山漣音さん・4年繁田勘介さん

(正) 3年繁田勘介さん・4年石山漣音さん